

研究課題名：「産後出血における子宮動脈塞栓術の有用性について」

1、【対象】 当院、放射線科において平成13年6月～平成23年5月に産後出血に対する子宮動脈塞栓術が行われた方が対象となります。

2、【研究機関名】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

先進治療科学専攻腫瘍学講座 放射線診断治療学分野

3、【目的】 本研究は後方視的に産後出血への子宮動脈塞栓術における成績を調査し、その有用性を検討し、明らかにすることを目的としたものです。今回調査ではどの要因が技術的成功（子宮温存）の有無に与える影響を検討し、患者さんの治療成績の向上に役立てることを目的とします。

4、【方法】

産後出血への子宮動脈塞栓術を施行した患者さんの臨床診断、画像診断、塞栓術の手技、手技的成功（子宮温存）の有無を評価します。それを元にデータの解析を行います。

5、【意義】

本研究により産後出血への子宮動脈塞栓術において塞栓方法の役割が評価でき、産後出血への子宮動脈塞栓術の成績の向上に役立てることができます。

6、【個人情報の扱い】

調査結果の発表や出版に関しては個人が特定されるような情報は掲載しません。また得られた資料は研究計画書に記載した以外の研究には使用しません。個人情報は鍵のかかる保管庫で管理し、研究終了後に破棄します。

7、【問い合わせ先】

鹿児島大学大学医学部・歯学部附属病院

放射線診療センター（放射線科）

講師 馬場 康貴

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目3番1号

Tel 099-275-5417 Fax 099-265-1106

掲載ホームページ：<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~radiol/ippan/kenkyu.html>